



POWER

Wakayama Culture and Arts



和歌山の国宝

ぶつねはんず
国宝 仏涅槃図 一幅

【金剛峯寺 応徳3年 平安時代】

釈迦が沙羅双樹の下で入滅する情景を描いたもので、古来より涅槃会の本尊として用いられてきました。本図は応徳三年（1086年）の墨書銘があり、多くの涅槃図の中で現存最古の作です。

Contents

- ② アーティストメッセージ ヴァイオリニスト 千住真理子さん
- ③ きのくに技能奨励賞 フランス料理・シェフ 味村 正弘さん
- ④ ⑤ イベントガイド
- ⑥ 伝統芸能新世代 お燈まつり
- ⑦ 大好き和歌山 未来を担う子どもたち
- ⑧ カルチャーインフォメーション

artist message

アーティスト メッセージ

リラックスしてクラシックの音楽に 身をゆだねて下さい

3月15日(木)に和歌山県民文化会館で「千住真理子ヴァイオリンリサイタル」が開かれます(P4参照)。2005年にはデビュー30周年を迎える記念アルバムも発売。1月リリース「ドルチェ」に収録されたよくご存知の美しいメロディをお楽しみください。

Q 一昨年はデビュー30周年と長いキャリアを誇る千住さんですが、今年の意気込みをお聞かせください。

A クラシックの幅広い名曲の数々をリラックスして聴いて頂けるよう「ドルチェ」というタイトルをつけて発表していきたいと思います。これをきっかけにしてクラシック音楽にのめり込んで頂ければ～(笑)。

Q 千住さんにとってバッハは特別な存在のようですが、バッハとの関わりについて詳しくお聞かせください。

A バッハは私が挫折した時、何も弾けなくなった私が唯一、誰にも聴かせることなく自分自身だけのために弾き続けた大切な曲です。時には夜中から明け方まで弾き続けることで、私自身の心を闇から救ってくれた曲です。

かも私にとっては12歳でデビューしたときに弾いた曲でもあり、バッハに導かれて今日まで来た、関わりが深いと感じている曲です。

Q 常日頃、舞台に立つにあたって、心がけていることをお聞かせください。

A 一期一会の気持ちを持って弾くようにしています。今日のこの場所



写真提供:東芝EMI



ヴァイオリニスト
千住真理子さん

写真提供:東芝EMI

2歳半からヴァイオリンを始める。NHK交響楽団と共に演奏し12歳でデビュー。99年2月、ニューヨーク・カーネギーホールのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。2002年秋、「幻の名器」とされるストラディヴァリウス“デュランティ”との運命的な出会いを果たす。2005年、デビュー30周年記念アルバム「愛のコンチェルト」リリースし、ベルリン室内管弦楽団との共演によるデビュー30周年記念コンサートを行う。2007年2月にはスロヴァキア室内オーケストラ、および小林研一郎率いるオランダ・アーネム・フィルハーモニー管弦楽団と全国でツアーを予定。

で初めて私のヴァイオリンを聴く方、今日を最後に聴いていただけなくなる方、そして今日が初めてで最後という方もいらっしゃるかもしれません。精一杯の魂を込めた悔いのない演奏を心がけています。

Q 今回の和歌山公演の見どころを教えてください。

A みなさんのご存知な有名な曲をたくさん演奏します。ヴァイオリンの曲ではない曲も美しい名曲ならどんどん弾きます! リラックスしてクラシックの音楽に身をゆだねて下さい。

Q 最後に、ご来場される和歌山のファンの皆様にメッセージをお願いします。

A 和歌山の皆様に、魂を吹き込んだ愛器の音色を早く聴いて頂きたい気持ちでいっぱいです。クラシックになかなかいらっしゃらない方も是非一度いらしてみて下さい。心をこめた音楽を、二度とない空気感を、ご夫婦で、お友達と一緒に、ご家族で、いらして下さいね。お待ちしています!



工芸品または生活用品の製作等の優れた技能を保持し、将来一層の業績が期待できる技能者の方に贈られる賞です。

平成17年度 きのくに技能奨励賞

古典的なフランス料理を大切にしながら、和歌山ならではのフレンチを提供したい

学生アルバイトで洋食屋の手伝いをしたときに食べた洋食のおいしさに感激し、こんな料理を自分も作りたいと思ったのがシェフを目指した原点に。「JOY味村」をオープンしてからは、ますます腕に磨きがかかり、「目が笑い、舌が踊る」と芸術的センスで盛り付けられた料理は見て楽しめ、その繊細な味とおいしさは評判を呼んでいます。この新鮮で独創性に満ちた料理の数々は世界や日本各地で多くの名誉ある賞を受賞しています。

「料理とは、食べる人が作る人を無条件に信頼してくれているのだから期待を裏切ってはいけない」と、日々、最高の料理を作り出し、

感動してもらえるように精進しています。

特に大事にしていることは「前味・中味・後味」で、前味はどこの店に行こうか、何を食べようかと吟味すること。中味は料理や接客サービス、店の雰囲気など。後味は食べた料理を話題にできること。この3点を満足してもらえるような店作りをしているそうです。料理の道を歩んで今年で40年。世界遺産登録された熊野を題材にした料理も考案中で、「フレンチで和歌山から世界に発信していきたい、お客様がおいしいと喜んでくれたときが一番うれしい」と味村シェフは熱く語ります。

フランス料理・シェフ
味村 正弘さん

昭和27年、日高郡日高川町生まれ。平成6年に和歌山城近くにフランス料理店「JOY味村」をオープン。昭和63年世界料理オリンピック金メダル。平成2年ワールドカップ世界大会銅メダル(団体)。平成16年世界料理オリンピック銀メダル獲得。和歌山市在住。



独創性に満ちた盛り付けと
繊細な味の味村さんの料理と



盛り付けには細心の注意を



県内各地において、広く舞台芸術に親しむ機会を提供し、活気あふれる元気な地域社会を創出することで、県民の文化活動の機運を高め、文化の香り高い郷土づくりを目指します。

2/3

平成18年度 きのくに舞台芸術祭事業

ソング・フォー・メモリーズ

- 開演／午後6時30分
- 場所／串本町文化センター
- 入場料金／全席指定4000円
- 主催／串本町文化自主事業実行委員会、和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団
- お問い合わせ／串本町教育委員会生涯学習課 ☎0735(62)0006

時代を映し出すグループの代表メンバーである、山本潤子(ハイファイセッタ)、鈴木康博(オフコース)、細坪基桂(ふきのとう)の3人による珠玉のライブパフォーマンス。

それぞれの代表曲はもちろん、60～70年代のフォーク&ポップスなど、三声の美しいハーモニーで蘇る名曲の数々をお楽しみください。



Wacaf カルチャースクール展 ～カリグラフィー～

■平成18年2月2日(金)～2月4日(日)
カルチャーサロン102

平成18年度に行われたカリグラフィー教室。その成果の発表の場として、Wacafカルチャースクール展を開催します。個性あふれる20数点を展示します。



EVENT GUIDE

イベントガイド

2/16

音楽の素晴らしさを伝えたい！

音の杜クラシックコンサート～和歌山県新人演奏会出演者による～

関西から
文化力

- 開演／午後7時（開場：6時30分）
- 場所／和歌山県民文化会館（小ホール）
- 入場料金／無料（整理券）全席自由席。
- ※未就学児の入場はお断り致します。

これまでの和歌山県新人演奏会に出演した音楽家による、誰もが気軽に聴けるクラシックコンサート。音楽の楽しさや素晴らしさ、奥深さを表現するための日々の研鑽を披露します。

整理券配布中

※整理券は定員になり次第締め切ります。



岩本 愛子



島本 幸穂



松岡 恒介



福嶋 勲



赤星 南三子

第1部

ピアノ 岩本 愛子 (いわもと あいこ)

第33回和歌山県新人演奏会出演

- F.ショパン／エチュード イ短調 Op. 25-11「木枯らし」
L.ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 Op. 27-2「月光」

サクソフォン 島本 幸穂 (しまもと さちほ)

第30回和歌山県新人演奏会出演

- D.ベダール／ファンタジー
G.ガーシュイン(作曲)／長生 淳(編)／
サクソフォンとピアノのための ラプソディ イン ブルー



第2部

トランペット 松岡 恒介 (まつおか こうすけ)

第34回和歌山県新人演奏会出演・特別奨励賞受賞*

- J.クラーク／トランペット・ヴォランタリー
J.S.バッハ／「無伴奏チェロ組曲 第1番」より“プレリュード”
J.B.G.ネルーダ／トランペット協奏曲 変ホ長調 第2楽章 第1楽章

声楽 福嶋 勲 (ふくしま いさお)

第27回和歌山県新人演奏会出演

- 谷川 俊太郎(作)／林 光(曲)／絵本物語「ほうすけのひよこ」

ピアノ 赤星 南三子 (あかほしなみこ)

第31回和歌山県新人演奏会出演

- F.ショパン／バラード 第1番 ト短調 Op.23
F.リスト／巡礼の年 第3年より 第4曲「エステ荘の噴水」

※第34回から特別奨励賞を設けました。

第35回和歌山県新人演奏会 オーディション 参加者募集

和歌山県文化振興財団では、平成19年7月8日(日)に開催する「第35回和歌山県新人演奏会」の出演者を募集しています。この演奏会は、音楽を学んでいる優秀な若人を広く県民に紹介するとともに、和歌山県の音楽文化の振興と向上を図るための催しです。昨年の第34回からは幅広く多くの方々にご参加いただけるよう応募資格の年齢を大幅に拡大しました。みなさまのご応募をお待ちしています。

【応募資格】

平成19年4月1日現在、**年齢が20歳以上35歳以下の方**で、かつ、次のいずれかに該当する方。本県の出身者、在住者、勤務者、在学生、卒業生
※一度演奏会に出演された方は応募できません

【オーディション開催日時】

平成19年4月29日(日)午後1時開始(予定)

【開催場所】

和歌山県民文化会館大ホール

【参加料】無料(公開オーディション)

【演奏部門】クラシック部門(声楽・器楽・作曲・邦楽)

※各部門とも生演奏に限ります。作曲の場合は楽譜も提出してください。(返却しません)

※主催者で用意する楽器はピアノだけです

【演奏時間】5分以内(曲のカットは任意)

※演奏時間の長短は審査の対象となりません

【曲目】

自由 ※演奏会で演奏する曲を含むこと

【結果発表】オーディション審査後、当日発表。後日、郵送でもお知らせします。また、希望者には結果発表後、選考委員からの講評があります。

【お申し込み締め切り】平成19年4月1日(日)までに所定の様式に必要事項を記入の上、申し込んでください。



前回の演奏会より

お問い合わせ
和歌山県文化振興財団
和歌山県新人演奏会係
073-436-1331

3/木
15

ストラディバリウスの美しい音色で魅了する

千住真理子ヴァイオリンリサイタル

岡西から
文化力

- 日時／平成19年3月15日(木)
- 開演／午後7時(開場／午後6時30分)
- 場所／和歌山県民文化会館小ホール
- 入場料／一般3500円、学生2500円(全席指定)
- チケット販売／けんぶん友の会優先電話予約1月10日(水)午前10時から
一般先行電話予約／1月15日(月)午前10時から
一般発売／1月19日(金)

2002年夏、幻の名器とされる ストラディバリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、2005年にはデビュー30周年を迎える、ベルリン室内管弦楽団との共演による記念コンサートのほか、記念アルバムCD「愛のコンチェルト」を発売しました。熊野を舞台にしたNHK朝の連続テレビ小説「ほんまもん」の音楽を兄の千住明が担当、千住真理子が演奏し、全国で注目されました。

演奏曲目 ※曲目が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 【J. S. バッハ】主よ人の望みの喜びよ | 【ラヴェル】亡き王女のためのパヴァーヌ |
| 【バッヘルベル】カノン | 【ドヴァルザーク】スラヴ舞曲 第2集より 木短調 |
| 【ショパン／サラサーテ編】夜想曲 第2番 | 【ラフマニノフ】パガニーニの主題による狂詩曲 第18変奏 |
| 【シューマン】ロマンス | 【千住 明】NHK連続テレビ小説「ほんまもん」より「君を信じて」 |
| 【ドビュッシー】月の光 | 【マスカニ】カヴァレリア・ルスティカーナより 間奏曲 |
| 【ショパン／ミルシテイン編】夜想曲 第20番 遺作 | 【ドヴァルザーク】家路 |
| 【ロシア民謡】黒い瞳 | 【リスト】愛の夢 |
| — 休憩 — | 【グラムス】ハンガリー舞曲 |



写真提供:東芝EMI

2/日
11

長い歴史ある伝統民俗芸能が集結します！

第1回和歌山県民俗芸能祭

岡西から
文化力

- 開演／午後1時(開場／午後0時30分)
- 終演予定／午後4時予定
- 場所／和歌山県民文化会館小ホール
- 入場無料(要整理券)全席自由配布中

和歌山県では地域ごとに郷土色豊かな民俗芸能、風俗習慣が伝承されていますが、今回、各地域の伝統芸能が一堂に集まり、民俗芸能祭を開催します。伝統芸能がもつ長い文化と歴史の魅力を十分にご堪能ください。

出演団体

- 【橋本市】嵯峨谷の神踊り／嵯峨谷の神踊り保存会
- 【田辺市】野中の獅子舞／近野獅子舞団
- 【紀の川市】あら川の桃縁起踊り／あら川の桃縁起踊り保存会
- 【紀の川市】粉河だんじりばやし／粉河車楽ラブ
- 【広川町】広八幡神社の田楽／広川町古典芸能保存会
- 【和歌山市】団七踊／岡崎団七踊保存会
- 【由良町】阿戸の獅子舞／阿戸の獅子舞保存会

みんなで楽しく歌いましょう！

シニア音楽セミナー

シニア世代の方を対象にした音楽セミナーです。発声練習など基本から始めますので、初心者でも気軽に歌えます。みんなで楽しく声を張り上げ、童謡など元気よく歌ってみませんか。県内3カ所のどの会場にでも参加できます。

【講師・指導者】

原 盾二郎(和歌山県合唱連盟理事長・和歌山県新人演奏会選考委員)

【開催日時・場所】

- ・平成19年1月20日(土)午後2時～午後4時 御坊市民文化会館 小ホール
- ・平成19年2月10日(土)午後2時～午後4時 平成19年3月3日(土)午後2時～午後4時 御坊商工会館4階 大会議室
- ・平成19年1月21日(日)午後2時～午後4時
- ・平成19年2月17日(土)午後2時～午後4時
- ・平成19年3月4日(日)午後2時～午後4時 和歌山市中央コミュニティセンター 多目的ホール(大)

- ・平成19年1月21日(日)午後2時～午後4時
- ・平成19年2月17日(土)午後2時～午後4時
- ・平成19年3月4日(日)午後2時～午後4時 和歌山市中央コミュニティセンター 多目的ホール(大)

- ・平成19年1月27日(土)午後2時～午後4時
- ・平成19年2月17日(土)午前10時～正午
- ・平成19年3月17日(土)午後2時～午後4時 粉河ふるさとセンター 小ホール

【参加料】無料

【協力】御坊市民文化会館(指定管理者南海ビルサービス(株))御坊公演のみ

【お問い合わせ】

TEL073-436-1331

(財)和歌山県文化振興財団

どうなっているの？舞台の裏側

けんぶんバックステージツアー(施設見学)申込案内

和歌山県民文化会館大ホールを見学できます。普段は見ることができない舞台の裏側を解説を聞きながら楽しく知ることができます。



【開催日時】

平成19年2月18日(日)
午前10時30分の部・午後2時00分の部

【開催場所】

和歌山県民文化会館大ホール
(舞台・音響室・照明室など)

【募集人員】各25名

【募集期間】平成19年1月10日～2月10日

【参加料金】無料

【見学時間】約60分

【申込方法】

往復ハガキにご希望の時間・お名前・ご住所・電話番号・年齢を記入し、お申し込みください。

※グループでお申し込みの場合は、全員のお名前・電話番号・年齢を記入
※返信用のハガキには、必ずご住所・お名前をご記入ください。

※応募者多数の場合は抽選となります。

【問い合わせ・申し込み先】

和歌山市小松原通1-1

(財)和歌山県文化振興財団

けんぶんバックステージツアー申込係

〈電話〉073-436-1331 〈FAX〉073-436-1335

〈E-mail〉wacaf@wacaf.or.jp



お燈まつりは2月6日の昼ごろから白装束の男たちが大浜で身を清める潮垢離を行い、白い食べ物を食べ、熊野速玉大社にお参りしてから、神倉山に登ります。燃え盛る松明を手にした登り子が夜8時に538段の石段を一気に駆け下ります。7日に速熊野玉大社へのお礼参りと護摩焚きが行われます。

地元伝統文化を引き継ぐ
新しい世代による活動を紹介します



炎の奔流が駆け下る「お燈まつり」 1400年の伝統は県無形文化財

新宮市神倉神社の例祭「お燈まつり」は毎年2月6日に行われ、紀南地方に春を呼ぶ祭りとして1400年の歴史があります。伝統あるお燈まつりを支えているのが「神倉神社奉賛会」と「神倉神社青年団」の70名の会員です。活動は神倉神社の石段の補修作業や、社務所の改修、境内の清掃など。メンバーは祭りの世

話をする介錯人として、祭り前日にお供えする「飾り御供」の餅つきや直径40cm、長さ30mの巨大なしめ縄作りなど準備全般を行います。

またご神体のごとびき岩のしめ縄の張替え、ご神火を火打石と鉢で起こし、わらすべに移す儀式を執り行います。その火が全身白装束で腰に荒縄を巻いた登り子といわれる男た

ちの松明に点火されます。

会長の浅田尚さんは、「奉賛会に入って40年、会長を務めて10年間ですが、毎年、安全で、けが人が出ないように会員一同心を合わせて介錯しています」と話します。今年のお燈まつりにも全国から勇敢な男たちが集まり、神倉山を竜のごとく駆け下ります。

生活に広がる国際交流の輪
和歌山県国際交流センター

国際交流センターで本を読みませんか? ～母国語の本を読める幸せ～

和歌山県国際交流センターの資料閲覧室には、約5300冊の本があります。旅行ガイドブックや語学学習の本、民族衣装や食べ物を紹介している本や世界各地の子どもたちの生活が分かる本など、国際交流に関する図書をたくさん置いています。利用される方は幅広く、最近は、学校の調べ学習のために、来館するお子さん達もいます。

また、当センターは県内在住の外国人の方も利用します。そのため、ペーパーバックや中国で出版された

小説、ハングルに翻訳された日本の名著など、外国の方が母国語で読める本も多数揃えています。ベストセラーになった本の外国語版を楽しみに借りる方や中国から航空便で送られる雑誌を読むため、毎月来館される方もいらっしゃいます。

インターネットが普及していますが、紙に活字で書かれたものを読む喜びは、万国共通のものです。

国際交流センターは、外国人のための図書館にもなっています



※県内にお住まいの方、通勤・通学されている方に貸出サービスをしています。希望される方は、運転免許証や学生証など、「あなたが分かるもの」をカウンターにご提示ください。図書カードを発行します(雑誌は貸出できません。ご了承ください)。

〒640-8319 和歌山市手平2-1-2

県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛 8F

和歌山県国際交流センター

TEL : 073-435-5240

開館時間／午前10時～午後6時30分

休館日／水曜日・祝日(日曜日が祝日の場合は日曜日を休館し、翌日の月曜日を休館)、年末年始




お燈まつり
県の無形文化財に指定。毎年2月6日に行われる熊野山伏の伝統を持つ神倉神社の例祭です。

【開催日】2007年2月6日(火)
【場所】新宮市神倉 神倉神社
【交通】JR新宮駅、徒歩20分
【問い合わせ】新宮市観光協会 0735(22)2840

We Love Wakayama

大好き 和歌山



日頃の練習を発揮した「民謡の集い」

日本人の心のふるさとを唄う楽しさ! 和歌山県民謡連合会

民謡が大好きな人たちの集う団体で構成されている和歌山県民謡連合会。現在18団体が加盟し、会員数は約400名。会員は所属団体ごとに唄い手、囃し手、三味線、尺八、太鼓などの得意分野で民謡を楽しんでいます。連合会の活動は「紀州路民謡全国大会」、県民文化祭参加「民謡の集い」の開催、「国民文化祭・民謡の部」への参加、加盟各団体による福祉施設などの慰問など多岐にわたっています。和歌山県には300曲近く民謡がありますが、紀州民謡を再生させ後世に残そうと、紀州の民謡だけを唄い、競い合う「第1回・和歌山県発 紀州路民謡全国大会」を平成15年に初めて開催しました。さらに紀州民謡を全国の人々に知ってもらうために、曲を収録したCD「紀州民謡」を制作して、多くの人々に聴いて親しんでもらい、広めていく活動も行っています。

会長の浅井周英さんは、「県内各地の民謡を再生することは地域起こしや活性化につながっていきます。若い人たちにも民謡の素晴らしさを伝え、唄い手や邦楽器演奏者を育成ていきたい」と抱負を語ります。

平成19年2月25日(日)、午前9時から和歌山県民文化会館において「第5回・紀州路民謡全国大会」を開催します。午前の紀州民謡コンクールと午後のゲストによるアトラクションがお楽しみいただけます。入場無料。



紀州路民謡全国大会の様子

未来を担う子どもたち



公立幼稚園で英会話 楽しみながら五感で学ぶ





しっかりと体も使って! 英語の歌を楽しそうに歌う園児

和歌山市立雑賀崎幼稚園では、パトリック・マックグワイヤさんを講師に迎えた英会話活動を月に2回取り入れています。年少から年長まで、園児たちはみんな英会話の時間が楽しみ。大好きなパトリック先生の言葉にしっかりと耳を傾け、身振りや手振りまでもしっかりと見つめます。また、小さい子どもは素直なので、物おじせず何でもストレートに表現しようとなります。「だから上達も早いでしょうね」と話すのは、堀憲子園長。「大きくなって英語や英会話を学ぶときの興味や関心の源になれば」と期待を寄せます。

カルチャーインフォメーション

和歌山県立近代美術館

073(436)8690

美術百科「前衛の関西」の巻 コレクションによる全館展示

- 前期：1月4日(木)～2月18日(日)
- 後期：2月27日(火)～4月8日(日)

「美術百科」シリーズ第5回目。前衛性をキーワードに、実験的な制作が試みられてきた関西の戦後美術の歴史を紹介します。



池垣タダヒコ《series "old melancholy"》「胡鯨」1985(昭和60)年
和歌山県立近代美術館蔵

■和歌山市吹上1-4-14 JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで) 月曜(祝日の場合はその翌日) 一般310円、大学生210円(高校生以下、65歳以上の高齢者、障害者の方、県内留学・就学生は無料) 20名以上の団体割引あり

和歌山県立博物館

073(436) 8670

写真パネル展「きのくにの国宝」

- 1月13日(土)～1月28日(日)

企画展「きのくにのやきもの－南紀男山焼－」

- 2月3日(土)～3月11日(日)

紀伊徳川家にゆかりの深い「紀州三大窯」と呼ばれる陶磁器のコレクションのひとつ、現在の広川町にあった窯で焼かれた南紀男山焼の優品を中心に展示します。



南紀男山焼 染付名草晩潮図大皿
和歌山県立博物館蔵

■和歌山市吹上1-4-14 JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで) 月曜(祝日の場合は次の平日) 一般260円、大学生150円(高校生以下、65歳以上の高齢者、障害者の方、外国人留学生・外人就学生を含む)は無料

和歌山県立自然博物館

073(483)1777

クイズで楽しむ自然博物館 ■2月4日(日)

自然博物館内の展示物やパネルをじっくり見ればわかるクイズにTry! クイズラリー参加者にはもれなく参加賞が、また全問正解者には「第1回自然博物館クイズマスターの証」をその場で発行し、後日抽選で10名の方々に賞品が当たります。

【参加費】100円(別途入館料が必要) 【用意するもの】筆記用具・下敷きなど

【募集対象】小学生以上(個人参加の場合)～一般 ※家族単位での参加の場合、賞品は1家族につき1つとします。【参加申込み】開催日当日、館内受付にて(事前申込みの必要なし)

■海南市船尾370-1 JRきのくに線海南駅からバス「琴の浦」下車すぐ □午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 月曜 一般460円 *高校生以下・高齢者(65歳以上)・障害者の方は無料

万葉館

073(446) 5553

万葉日本画展「万葉のかけはし」

- 開催中～平成19年1月28日(日)

日本美術院同人評議員の清水達三先生の主宰する日本画の研究会“りんご会”の作品を展示します。

■万葉俳画展 ■2月1日(木)～5月20日(日) ※最終日は午後3時まで
絵・句・書が三位一体となって織りなす俳画の世界。物に対する感動の心を持って、絵と句を同時に一本の筆で描き、空白に余韻を醸し出す、和歌山県俳画協会の皆さん的作品約70点の展示です。

■和歌山市和歌浦南3丁目1700 JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「不老橋」下車徒歩約10分 □午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 月曜(年末年始及び整理点検日を除く) 一般200円、高・大学生100円、小・中学生以下無料 *高齢者(65歳以上)・障害者の方は無料

和歌山県立紀伊風土記の丘

073(471) 6123

冬期企画展「山の暮らしとなりわい」 ■2月3日(土)～3月21日(祝・水)

有田川上流を中心に紀北・紀中の山村の伝統的な生活と山の仕事を民俗資料コレクションより紹介。保田紙生産用具一式やシロ口皮生産、農業、林業などに実際に使われてきた50年・100年前の道具類の展示です。



子ども体験教室「昔の農家の一日体験」

- 2月17日(土) 10:00～14:30

小学生対象の体験教室です。参加費は材料費600円と傷害保険料103円で、2月6日までに申込みを!

■和歌山市岩橋1411 □午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで) 月曜(祝日の場合は次の平日) 一般170円、大学生80円(高校生以下、65歳以上、県内に留学中の外国人留学生及び就学生、障害者の方は無料) *特別展は一般350円 大学生210円

イベントスケジュール

大ヒット「熊野古道」御礼和歌山縦断コンサート

水森かおりコンサート2007

- 3月8日(木) 午後2時開演、午後6時30分開演 和歌山県民文化会館
- 3月9日(金) 午後2時開演、午後6時30分開演 紀南文化会館
- 3月11日(日) 午前11時開演、午後4時開演 那智勝浦体育文化会館
- いずれも前売券S席(指定)6500円、A席(指定)5000円
- 主催／(株)北光プロモーション 086-252-1616
- 協力／和歌山県熊野古道PRプロジェクトチーム
- 前売券発売所／
【和歌山県民文化会館】073-436-1331 ほか

大ヒットした「熊野古道」を地元和歌山で…。水森かおりのみずみずしい歌声が会場いっぱいに響きます。熊野を訪れてすっかり熊野のファンになつたといふ彼女。悠久の歴史を刻む熊野古道を後世に伝えたいと、コンサートの売上の一部が和歌山県熊野古道の保全のために寄付されます。



紀州漆器作品展示と体験コーナー

和歌山伝統工芸作品展 ～紀州漆器～

多様な生活文化の中で和歌山県に関わる伝統工芸作品を展示するほか、丸盆を作る体験コーナーを設けます。物づくりの楽しさを味わって伝統文化への関心を高めませんか。

■展示会場】1月10日(水)～14日(日) ■和歌山県民文化会館 小展示室 ■午前10時～午後5時

【丸盆作り体験コーナー】■1月13日(土)・14日(日) 両日共 午前11時～、午後1時～、2時～、3時～ ■体験料500円

【展出作品】

濱野栄二郎／硯 なす・乾漆 盛器 南瓜・建水 銀杏・茶碗 つた・手笞 つた
小関伊佐美／手笞梅・沈金文庫 ぼたん・沈金文庫 梅
出口譲爾／ザボン 茶碗・ザボン 茶碗 別甲塗・硯箱 芥子・乾漆花生
山田健二／乾漆 粟 秋草・屏風
橋爪靖雄／硯箱 鉄線・飾棚
雛人形・現在の食卓(日常用品)

問い合わせ
(財) 和歌山県文化振興財団 073-436-1331



文化情報誌 ワカペー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行】和歌山県

【発行日】平成19年1月

【編集・問い合わせ】(財)和歌山県文化振興財団(ワカペー) 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

073(436)1331 FAX.073(436)1335

【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp